

# 令和3年度横浜地区高体連学校対校新人陸上競技大会競技注意事項

プログラムの配付・販売はありません。各校で横浜市陸上競技協会のHPからダウンロードして印刷してください。  
リレーオーダー用紙・欠場届も印刷してご利用ください。

## 1 規則

本大会は2021年(財)日本陸上競技連盟規則並びに本大会申し合わせ事項によって実施する。

## 2 競技場について

- ・本競技場は全天候舗装である。トラックの厚さは約13mmである。フィールドは約18mmである。走路の保全と競技者の安全のために、競技規則143条を参照されたい。
- ・競技場の開門時間は1日目、2日目ともに7時30分の予定とする。開門前の入場を禁止する。 ※1校2名で入場する。

## 3 練習について

- ・練習は補助競技場で行うものとする。※公園内や駐車場等での練習は厳禁。
- ・跳躍種目の練習は競技開始40分前から、投擲種目の練習は競技開始30分前から、競技場内で競技役員の指示により行う。
- ・練習は競技役員の指示に従い、危険防止に注意する。

## 4 招集

・招集場所は、スタート地点(フィールド競技は現地)とする。現地の招集完了時間に遅れた者は、欠場とみなし出場を許さない。トラック競技に参加する選手は事前に100mスタート付近スタンド下の競技者係へ行き、腰ナンバー標識(自分のレーンナンバー)を受け取り、右腰やや後方に安全ピンでとめておくこと。また、男子5000m・女子3000m・男女5000mW・男子3000mSC出場者は特別ナンバーカードも受け取り、胸と背に安全ピンでとめておくこと。安全ピン12本を各自必ず用意すること。今回はフィニッシュ後、係に返却しない。

## 5 ナンバーカード

ナンバーカードのナンバーは登録番号とし、顧問総会で配付した数字サンプルを使用して各自で作成(男女共に黒)し、2枚をユニホームの胸と背に結着すること。ただし跳躍種目は、1枚を胸または背に結着するだけでもよい。

## 6 トラック競技の組走路順、フィールド競技の試技順について

- ・トラック競技予選の組走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選しプログラムに示す。
- ・トラック競技準決勝、決勝の組走路順は本部で抽選し、掲示場所に掲示する。
- ・800mについては、100mまでセパレートレーンとする。
- ・男子5000mは段差スタートとする。
- ・タイムレース決勝の種目においては、最高記録を参考にして番組編成をしたため同一組に同じ所属校の選手が入る場合がある。

## 7 リレー競技について

- ・リレー競技に出場するチームは、プログラムにあるリレーオーダー用紙を作成し1組の競技開始1時間前までに招集所に提出する。
- ・リレー競技においては、チームの出場者は同一ユニホームを着用するものとする。
- ・4×100mRでは4走のみ、4×400mリレーでは2・3・4走が腰ナンバー標識を結着する。4×100mRでは1人1ヶ所に限りマーカーを使用することができる。リレーオーダー用紙はHP上にあるものを使用すること。

## 8 トラック競技について

- ・計時については写真判定(1/100秒)で行う。
- ・各種目の競技結果は、アナウンスのほかに掲示場所に掲示する。
- ・男女5000m競歩は35分、男子5000mは20分、女子3000mは15分で競技を終了する。(制限時間で最終周に入れられない場合)

## 9 決勝進出・順位決定

- ・次のラウンド決定において、最下位で同タイムの競技者が出た場合は写真判定を細部まで読み取り優劣を判定する。その際、1000分の1秒以上の差があれば優劣を判定する。ただしそれでも判定できない場合は抽選とする。
- ・1500mの決勝は15名で行う。ただし15位で同タイム同着順の競技者が出た場合は、対象者すべてを決勝に進出させる。
- ・タイムレース決勝の種目において、異なる組で同タイムが出た場合は決勝では同順位とする。
- ・女子400mH・男子5000mはタイムレース決勝で行う。

## 10 スタートについて

- ・トラック競技は、すべて電気計時とする。トラック競技のスタートは1回目の不正スタートで失格とする。
- ・※スタート時の不適切行為に関しては、審判長によって警告(イエローカード)を与えられる事がある。
- ・イエローカード(以後、YCと称す)に関して、当大会では国内ルールを適用し、以下の様に運用する。  
(ア)第162条5の規定により(a)(b)(c)いずれかの行為を行った時、YCを提示し警告を与える。この場合他種目との合算はなく、種目ごとに累積し、種目ごとにリセットする。  
(イ)同一種目で2回のYCを受けた競技者は、当該種目を失格とする。但し、それ以後の他の種目の出場は可能である。YCの累積は、該当種目のみに適用する。

## 11 フィールド競技について

走幅跳、三段跳においてAピットはトラック側、Bピットはスタンド側とする。Top8はA・Bの各ピットで行う。

※三段跳は男子11m・女子9mの踏み切り板とする。

フィールド競技の計測ライン及びびーの上げ方は、各審判主任の指示によるものとする。各種目最終点呼時に確認されたい。

## 12 用具

競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、棒高跳用ポール、砲丸、円盤、やり、ハンマーについて検査を受け承認されたものに限り個人所有のものが使用できる。

(検査は用器具庫前にて行う。検査時間は競技順序を参照。)

## 13 表彰

各種目3位まで、学校対校は男女総合8位まで賞状を授与する。入賞者は本部に賞状を取りこくること。

## 14 抗議

競技規則146条にもとづき、競技者自身、もしくは代理人から審判長へ口頭でなされる。裁定に不服の場合は競技者に代わる責任者が上訴申立書と預託金10,000円を総務に提出する。(その種目の結果の正式発表後30分以内に行わなければならない、また同日につぎのラウンドが行われる競技では15分以内に行う。)

## 15 その他

- ・競技中の疾病、傷害などの応急処置は主催者が行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること。
- ・プログラムに訂正がある場合には本部庶務まですみやかに連絡すること。
- ・参加各校の顧問は、競技役員または補助役員を行うものとする。
- ・競技開始30分前までに参加各学校より1名以上の補助員を出し、本部前に集合させること。
- ・各校補助員以外の生徒も競技開始前の準備に積極的に協力すること。
- ・本大会について不明な点がある場合には、顧問または生徒の代表が本部総務まで問い合わせること。
- ・競技終了後、スタンド等にゴミを残さないよう自席の清掃をすること。
- ・本競技場スタンド及び競技場以外の場所でのテントの張り出しは禁止する。
- ・メインスタンドでの部旗、横断幕等の張り出しは禁止する。
- ・応援は拍手のみとし、声は出さないこと。
- ・更衣室は更衣のみに使用し、シート等を敷くことを禁止する。※レストハウスは一般の方々も使用します。
- ・本部の裏通路については通行の妨げになるので占有しない。ゴール付近1・2番倉庫前も選手待機場所とし占有しない。
- ・競技場内に商品名、会社名のついた物を持ち込むことは、アマチュア資格に抵触するので厳につつむこと。
- ・貴重品は各自で保管し、紛失には十分注意すること。
- ・ビデオ装置、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で使用することは出来ない。(競技規則144条)
- ・ゴミについては各自持ち帰りを原則とする。

### ☆感染症対策について

- ・神奈川陸上競技協会ホームページの高体連陸上専門部を確認のうえ「参加状況報告書」を必ず提出すること。
- ・当日、学校受付でリストバンドを人数分配付するので、必ず見えるところに付けること。

### ☆学校受付について

各参加校の引率顧問の先生方は大会当日8:00～8:30の間に本部審判受付にて学校受付を行うこと。

※顧問の引率がない場合は、高体連試合参加規定により選手の出場は認められない。

### ☆安全対策について

- ・競技会に参加の競技役員、選手、補助員以外はトラック、フィールドに立ち入らない。
- ・本競技場、サブトラックでは決められたレーンを守り常に安全確認を怠らない。
- ・(※1, 2, 3レーンは周回練習に使用し、バックストレート側の5, 6, 7, 8レーンはスプリント練習等で使用する予定です。状況によって変更の指示があります。)
- ・周囲の安全を確認し、審判員・顧問の指示に従い事故防止を何よりも優先する。
- ・トラック、フィールドともに横断する際には周囲の安全確認を行う。
- ・ウォーミングアップの際、事故防止の為に、必要な声の掛け合いを行う。
- ・投てき物を持った状態での空ターンや助走練習は、公式練習以外では行わない。
- ・投てき物(やり等)の回収の際も周囲の安全に十分に配慮すること。
- ・マーカー、チューブ、メデシンボール等を使用しての練習は安全面から行わない。